

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1-1 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会 発行責任者／戸田 茂
URL: <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters/>

| | | |
|----|------------------------|---------------------------|
| 目次 | 後援会会長・学部長等挨拶 . . . 1～2 | 就職活動と支援・就職状況 . . . 8～9 |
| | 卒業式・答辞 2～3 | 進学先・就職先一覧（経済学部） . 10～11 |
| | 入学式 3～4 | 資格取得等報奨制度 12 |
| | 入学状況 4 | 後援会総会・平成30年度決算 . . . 13 |
| | 大学紹介 5～7 | 令和元年度予算・役員名簿 14 |
| | 学生生活活動だより 7 | 令和元年度学年暦・行事 15～16 |

会長挨拶 戸田 茂



戸田後援会会長

大学生が為すべきことは、学生としての本分を全うして専門的な深い知識を

有するようになること。二つ目は、正しいものの見方・考え方をしっかりと持つようになることでしょう。そして、正しい判断力と責任感を有して卒業することです。その為に家族は、意識して過干渉・過保護から脱却して『見守る』ことが肝要だと思います。素晴らしい『人』になるという期待と確信を以て認知して下さい。ひよっとして、既に越えているかもしれません。

彦根キャンパスは、学生生活を育むに相応しい舞台です。学生の熱い志と気力は、自立の原点になることでしょう。

経済学部長挨拶 田中英明

学部長職も2年目に入りました。後援会の皆様には、多大な支援をいただきありがとうございます。

この一年、後援会や陵水会の皆様をはじめ、多くの企業や自治体、商工会議所などの方々とお会いすることができました。そこで痛感したのは、大学内外の様々な関係者の皆様からの本学・本学部への期待の大き

データサイエンス学部長挨拶 竹村彰通

データサイエンス学部は3年目となり、新たに105名の三期生を迎えることができました。データサイエンス学部は企業連携などさまざまな社会連携活動を進めており、それが報道されることで、学部の知名度がかなりあがって来ました。また今年の4月には大学院修士課程を開

設しました。これも日本初となります。学部と修士課程の相乗効果により、社会で活躍できるデータサイエニティストを育てていきたいと思っています。

経済学部副学部長挨拶 澤木聖子

いつもご支援をありがとうございます。

経済学部の将来構想と改革、今年度から本格導入が開始された学習類型による教育学習支援の強化などを担当させていただきます。学生のみなさんが国内外の幅広い社会事象に問題意識を持ち、課題解決に向けた専門知識や実践力の習得を可能

とするような教育体制の実現を目指します。これからもご協力のほどお願いを申し上げます。

学務・学生生活担当 笹尾純治

平成29年度入学生より新たな卒業要件として課すことになりました「学習類型」の（学生各自がどのタイプの完成を目指すかの宣言に相当する）「登録」が本年度3回生によってなされました。新元号「令和」の始まりと共に、いよいよ本格的に動き始めましたこの新制度の動向に特に注目しつつ、学生が順調に履修を進めてゆけるように広く目を配ってまいります。後援会の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

入試・広報担当 鍋倉 総

入試・広報を担当いたします。先入試では、本経済学部は受験生が



後列 鍋倉副学部長 山田副研究科長
笹尾副学部長
前列 澤木副学部長 田中学部長

大幅に増加し、倍率が上がりました。入試関係の各種ランキングも上昇していることと思います。来年度からは総合型選抜(AO入試)という新しい入試が始まります。優秀な学生をこれからも適切に集めることができるよう職務に邁進いたしますので、引き続き暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

**大学院経済学研究科
副研究科長挨拶 山田和代**

今年度も引き続き、副研究科長を担当させていただきます。大学院では、教員と学生とが共に学問探求に邁進し、特に学生には知識の修得と合わせて、そのアウトプットの機会を活かしてもらえたいと考えています。微力ではありますが、それらの環境づくりに努めてまいります。皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**データサイエンス学部
副学部長挨拶**

総務・企画担当 榎田直木

本学は、2017年に日本で初めて設置されたデータサイエンス学部であり、DS教育を全学的に実施し、また他大学へ展開する拠点校として先導的役割を果たしてきました。設置3年目に入り、新たに迎えたDS修士課程の院生(多くが社会人)と共に、企業・行政等と連携し

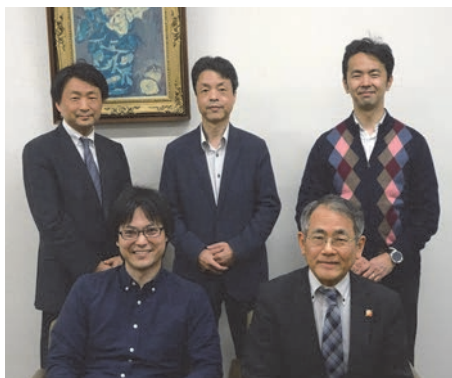
て価値創造ができる人材を育成し我が国のDS教育を加速させます。後援会のご支援をよろしくお願いいたします。

学務学生生活担当 齋藤邦彦

昨年に引き続き、学部学生の学生生活と教務事項を担当します。また今年から大学院学生の教育・学生生活指導も担当します。データサイエンス学部は3年目に入り、学生からは学ぶ場をより一層充実してほしいといった要望があり、きめ細かいサービス提供を心がけています。後援会の皆様には、教育や学生指導に對してご理解をよろしくお願い申し上げます。

入試・広報担当 笹田薫

データサイエンス学部の入試・広報を担当して3年目になります。昨年度はデータサイエンス学部の知名度も高まり、オープンキャンパス



後列 榎田副学部長 齋藤副学部長
笹田副学部長
前列 清水副研究科長 竹村学部長

の参加者も、各入試の受験者も大幅に増え、合格ラインも高くなりました。今年度もさらに優秀な受験生が集まるよう、入試・広報担当として励む所存です。引き続き皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。

**大学院データサイエンス研究科
副研究科長挨拶 清水昌平**

修士課程の育成人材像は、「領域の課題を見つけ、データを取得し、前処理をし、モデルを決め、最適化法を選び、分析結果を解釈してわかりやすく伝え、意思決定につなげる」一貫通貫型の人材です。初の入学者は、派遣社会人19名を含む23名でした。データから価値を創造するデータサイエンティストとして育っていつてもらえればと思います。



3月26日(火)、平成30年度滋賀大学卒業証書・学位記、大学院研究科学位記、特別支援教育専攻科修士証書授与式をひこね市文化プラザで挙行了しました。

今年度は、2年前の平成29年4月に大学院教育学研究科高度教職実践



式辞を述べる学長

専攻(教職大学院)へ入学した第一期生22名のほか、教育学部248名、経済学部583名、大学院教育学研究科修士課程46名、大学院経済学研究科博士前期課程26名、大学院経済学研究科博士後期課程5名、専攻科12名の合計942名が本学を巣立ちました。

位田学長からの学部、大学院、専攻科の代表者への卒業証書等の授与に続き、学長式辞で卒業生へはなむけの言葉が贈られたのに続いて、在校生を代表して教育学部3回生の野口竜誠さんからお祝いと感謝の言葉、また、卒業生を代表して経済学部卒業生の山内桃さんから「社会に出てからも常に自己研鑽に努めながら更なる成長を続け、社会に貢献していくことを誓います」との決意と教職員、在校生への感謝の言葉が述べられました。

引き続き、学業成績優秀者学長賞表彰が行われ、教育学部と経済学部において在学期間中に最も優れた学

業成績を挙げた2名に、位田学長から表彰状と記念品が贈られ、その努力と成果を称えました。

答 辞

琵琶湖から吹く風が心地よく、命の躍動する季節となりました。

本日、平成三十年滋賀大学卒業証書授与式にあたり、諸先生方、ご来賓各位、並びにご家族の皆様方にご臨席を賜りましたことは、私達卒業生にとりまして、この上ない喜びであります。卒業生を代表し、厚くお礼申し上げます。

只今、位田学長から温かい励ましのお言葉を賜り、また在校生の方から心のこもった送辞を頂き、卒業生一同心より感謝申し上げます。

振り返りますと四年前、満開の桜の花に迎えられ、新たに始まる大学生活に期待と不安を抱きながら、歴史と伝統のある本学に入学いたしました。それから早いもので四年もの歳月が経ち、無事今日という日を迎えることができました。

私たちは本学で、諸先生方の温かく熱心なご指導の下、また職員の皆様のご親切な対応の下、人生の中でも貴重な四年間を勉学や課外活動等に力を入れながら、充実した日々を過ごすことができました。また、日常の中で、多くの仲間とかかわりながら大学生活を楽しみ、様々な知識を身に付けてまいりました。そして



答辞を述べる山内さん

本日、深い感謝の気持ちを胸に、新たな社会への第一歩を踏み出します。

私たちがこれから向かう社会に目を向けてみますと、様々な現象や現実が待ち受けています。巷では「平成最後」という言葉が多く使われている。今日この頃ではありますが、約一か月後には平成という時代が終わり、新たな時代が幕を開けます。また、東京オリンピックの開催まで残り一年となる中で、競技場の設立やボランティアの応募、マスコットキャラクターの決定など着々と準備が進められ、世界最大の祭典に向けて大きく動いています。海外に目を向けてみますと、イギリスのEU離脱が世界に混乱を招いていたり、フランスのシャンゼリゼ通りでは大規模なデモが毎週続いている。治安が良いといわれていたニュージーランドでは先日銃乱射事件が発生し人々の悲しみが癒えないのと同時に、グローバル社会の根幹が揺らい

でいるのが現状です。

このように、私たちが向かう社会は著しい変化を続けており、この目まぐるしく変化する社会に私たちは立ち向かっていく必要があります。生きていく中で、困難な試験が待ち受けているかもしれません。しかし、本学で学んだ知識、コミュニケーション能力、対応力を糧に、社会人としての自覚を持つことで、これから立ち向かう様々な諸問題を解決していけると確信しています。そして、社会に出てからも常に自己研鑽に努めながら更なる成長を続け、社会に貢献していくことを誓います。

本日の卒業式を最後に、私たちはそれぞれ自分の決めた道へ進みますが、本学で培った人と人とのつながりは永遠に消えるものではないため、またいつの日か互いに健闘をたたえ合える日が来ることを願っております。

最後になりましたが、滋賀大学の益々のご発展と、私たちを育てて下さった諸先生方、職員の方々並びに、ご来賓やご家族の方々のご健康、ご活躍並びに在校生の皆様の益々のご健闘をお祈りいたします。答辞とさせていただきます。

平成三十一年三月二十六日
卒業生代表

経済学部 山内 桃

平成31年度入学式

4月4日(木) 大津市のびわ湖ホールにおいて、平成31年度滋賀大学入学式を挙行了しました。今年度は、新たに設置した大学院データサイエンス研究科修士課程に入学した第一期生23名のほか、教育学部241名、経済学部493名、データサイエンス学部105名、大学院教育学研究科修士課程37名、大学院教育学研究科専門職学位課程16名、大学院経済学研究科博士前期課程16名、大学院経済学研究科博士後期課程3名、特別支援教育専攻科10名の総計944名が、学生生活の新しいスタートを切りました。

式典は、まず大学院と専攻科の入学式を行いました。学歌斉唱の後、入学生を代表して大学院データサイエンス研究科の山野真奈さんが宣誓



宣誓する経済学部の中村さん

を行いました。続いて位田学長から「皆さん一人一人の研究が、そして一つの研究エレメントが、すぐにも、または必ずや近い将来に、社会の、そしてその中の一人一人の人間の豊かな生活につながることは間違いありません」と式辞がありました。

その後、学部の入学式を行いました。入学生を代表して経済学部の中村勇樹さんが宣誓を行いました。「学則を守り学生の本分を尽くすこと」を誓いました。続いて位田学長から「皆さんは平成最後の入学生であると同時に、すぐに始まる令和の時代の最初の滋賀大生です。この時代の変わる中で、十分に力を養い、蓄えて、近い将来にその実力を存分に発揮できるように、学生生活を送ってください」と式辞がありました。

続いて、来賓を代表して経済学部・データサイエンス学部同窓会の小椋清司理事長から祝辞があり、その後、在学生を代表して教育学部4回生の上野いつきさんから歓迎の言葉が述べられ、入学を祝しました。

入学生は、これから始まる大学生活への期待に胸を膨らませていました。



令和元年度 入学状況

入学試験状況

| 学 部 名 | 定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | |
|------------|--------|-----|-------|-------|-----|-----|
| 経済学部 | 昼間主コース | 410 | 3,869 | 2,395 | 498 | 414 |
| | 夜間主コース | 50 | 265 | 246 | 76 | 50 |
| | 3年次編入 | 20 | 100 | 79 | 42 | 29 |
| データサイエンス学部 | 100 | 496 | 384 | 119 | 105 | |

【大学院】

| 研 究 科 名 | 定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | |
|-------------|--------|-----|-----|-----|-----|----|
| 経済学研究科 | 博士前期課程 | 32 | 45 | 40 | 20 | 16 |
| | 博士後期課程 | 6 | 5 | 5 | 3 | 3 |
| データサイエンス研究科 | 20 | 31 | 31 | 24 | 23 | |

滋賀大学入学者一覧

| | | | |
|-------------|-------------|--------|----|
| 経済学部 | | 493 | |
| データサイエンス学部 | | 105 | |
| 教育学部 | | 241 | |
| 大 学 院 | 経済学研究科 | 博士前期課程 | 16 |
| | | 博士後期課程 | 3 |
| | データサイエンス研究科 | | 23 |
| | 教育学研究科 | 修士課程 | 37 |
| | | 教職大学院 | 16 |
| 特別支援教育専攻 | | 10 | |
| 入学者合計 | | 944 | |

都道府県別入学者数

【経済学部（3年次編入は除く）】

| | | | | | | | | | | | |
|------|----|------|-----|----|-------|------|----|------|-----|-----|--------|
| 北海道 | 3 | 0.6% | 長野県 | 2 | 0.4% | 和歌山県 | 5 | 1.1% | 福岡県 | 7 | 1.5% |
| 青森県 | 1 | 0.2% | 岐阜県 | 44 | 9.5% | 鳥取県 | 3 | 0.6% | 長崎県 | 3 | 0.6% |
| 群馬県 | 3 | 0.6% | 静岡県 | 6 | 1.3% | 島根県 | 4 | 0.9% | 熊本県 | 2 | 0.4% |
| 埼玉県 | 1 | 0.2% | 愛知県 | 58 | 12.5% | 岡山県 | 7 | 1.5% | 大分県 | 1 | 0.2% |
| 千葉県 | 1 | 0.2% | 三重県 | 13 | 2.8% | 広島県 | 10 | 2.2% | 宮崎県 | 1 | 0.2% |
| 東京都 | 6 | 1.3% | 滋賀県 | 64 | 13.8% | 山口県 | 2 | 0.4% | 沖縄県 | 1 | 0.2% |
| 神奈川県 | 2 | 0.4% | 京都府 | 68 | 14.7% | 徳島県 | 2 | 0.4% | 留学生 | 11 | 2.4% |
| 富山県 | 2 | 0.4% | 大阪府 | 43 | 9.3% | 香川県 | 3 | 0.6% | | | |
| 石川県 | 8 | 1.7% | 兵庫県 | 42 | 9.1% | 愛媛県 | 2 | 0.4% | | | |
| 福井県 | 10 | 2.2% | 奈良県 | 16 | 3.4% | 高知県 | 7 | 1.5% | 合計 | 464 | 100.0% |

【データサイエンス学部】

| | | | | | | | | | | | |
|------|---|------|-----|----|-------|------|---|------|------|-----|--------|
| 青森県 | 1 | 1.0% | 福井県 | 4 | 3.8% | 兵庫県 | 8 | 7.6% | 福岡県 | 2 | 1.9% |
| 宮城県 | 1 | 1.0% | 静岡県 | 3 | 2.9% | 和歌山県 | 1 | 1.0% | 佐賀県 | 2 | 1.9% |
| 山形県 | 1 | 1.0% | 愛知県 | 9 | 8.6% | 島根県 | 1 | 1.0% | 大分県 | 1 | 1.0% |
| 群馬県 | 2 | 1.9% | 三重県 | 1 | 1.0% | 岡山県 | 1 | 1.0% | 鹿児島県 | 2 | 1.9% |
| 千葉県 | 2 | 1.9% | 滋賀県 | 15 | 14.3% | 徳島県 | 2 | 1.9% | 沖縄県 | 1 | 1.0% |
| 東京都 | 2 | 1.9% | 京都府 | 22 | 21.0% | 香川県 | 1 | 1.0% | | | |
| 神奈川県 | 2 | 1.9% | 大阪府 | 16 | 15.2% | 愛媛県 | 2 | 1.9% | 合計 | 105 | 100.0% |

大学紹介

経済学部の現況

経済学部長 田中英明

彦根キャンパスの正門を入るとすぐ右前方に、経済学部講堂（旧彦根高等商業学校講堂）があります。多くの映画やドラマのロケにも使われ、国の登録文化財となっている、この半円形屋根窓や瀟洒なドーム型小塔が特徴的な大正の木造建築は、95年もの間、高商・経済学部のシンボルとして愛されながら、学生・教職員の活動を見守ってきました。大学や部活動の行事は無論のこと、ヘレン・ケラーの講演、ダンスパーティー、また専門家に奇跡的と評されるその音響から様々なコンサートや舞台ともなり、広く市民にも利用されてきました。

ところが残念なことにこの数年は耐震性能の問題から使用が中止され、学生達も「映画で観て中に入るのを楽しみにしていたのに」と残念な思いをしています。

しかし、昨年度末の補正予算で念願の耐震改修が認められ、この秋にも工事が始まる見込みです。「国土強靱化」の一環とはいえ、授業や学生生活に必要な施設とは言い難いシンボリックな建物に大きな予算が認められたのは、近年の本学への評価や期待の高まりと無関係ではないでしょう。この100年の伝統をしつ



耐震改修が認められた講堂

かりと受け継ぎつつ、また新たな100年の伝統を築いていくなさいという社会からの叱咤激励と受けとめております。

本学部は「国際的な視野をもち、環境に配慮しつつ地域社会にも貢献できる、個性ある専門職業人の養成」を教育理念として掲げてきました。以下では、そんな学部の教育活動を、いくつかの面から紹介していきます。

〈高度化する専門教育の拠点〉

社会の変化とともに、専門知識も急速に変化と高度化を遂げています。大学教育はこれまで以上に、知識そのものだけでなく、絶えず新たな知識を理解し、生み出していくための思考力や基礎的な技能の習得を重視しなければなりません。

そのため本学部でも、プロジェクト科目などのPBLと呼ばれる、課題の発見と解決を実践する新しい学びに力を入れています。また、「高度専門職人材育成機能強化プロジェクト」

「クト」では、証券アナリストやファイナンシャルプランナーや、経営・会計系も含めた難関とされる資格試験を、専門基礎力の到達指標として活用し、授業科目や演習に補習や自主学習を組み合わせて体系的に学ぶ教育プログラムを提供しています。すでに証券アナリストでは3年連続で2次試験合格者数の大学日本一を達成するなどの成果を出しています。

さらに、東大・京大等とともに数理・データサイエンス教育の拠点6大学に選定されている本学の強みを活かし、経済・経営の具体的な課題に直面しながら、汎用的技能としてのデータサイエンスの有効性を体感し、その活用能力を身に付けた人材の育成に取り組んでいます。

経済学部生は、「データサイエンスへの招待」などの全学共通教養科目に加え、データサイエンス学部の専門科目を10単位まで履修できます。専門科目を履修する経済学部生も増え、学部創設3年目に入り開講される科目も増え、データサイエンスの専門科目を履修する経済学部生も増えてきました。より専門的な科目も受講でき30単位まで卒業単位に算入が可能です。副専攻としてデータサイエンスを体系的に学んだ証として修了が認定されるコースも用意しました。この副専攻プログラムは一定の要件のクリアが必要な登録制となっており、その修了を目標とした、1年次からの計画的な履修を指導しています。

〈グローバルな視野を持つ人材育成の拠点〉

本学及び本学部では「共創グロー



イギリス研修での一コマ（ラジオ放送体験）

バル人材プログラムや「英語で学ぶ専門科目」などの開講のほか、長期・短期の海外留学や研修・インターンシップのプログラムや支援策を実施しています。後援会や陵水会からも報奨制度や奨学金によって支援していただいています。積極果敢に世界に挑む学生を後押しするため、こうした多種多様な制度・プログラムの案内や、留学・国際交流に関する相談・アドバイスの窓口を、この春から研究棟3階の国際交流課に一本化しました。海外での学びや国際交流に少しでも関心のある学生には、一度この学生窓口遊びに来るよう呼びかけています。

〈地域の知の拠点〉

大学は地域社会にとって広い学問・知の世界に開かれた窓としての役割を期待されていますが、本学部の教育面でも、地域の人々との様々な関わりが、実践的な課題を意識した、刺激的な学びの機会を拡げています。

例えば、本年度から彦根商工会議

所の寄附講義として開講されている「世界遺産学」は、人類社会にとつての普遍的な価値や将来世代への責任といった観点から文化や自然に向き合うとともに、彦根や滋賀にとつて切実かつ具体的な課題に挑む、多角的な学びの場となっています。初回の講義はオープンングイベントとして公開され、学外からも100名近い方が参加しました。第2回以降も公開講義として30名程の市民が学生と一緒に学んでいます。彦根城や城下町を実際に歩くフィールドワークも組み込まれており、そのプランの作成・立案から当日のガイドまでを体験するプロジェクト科目も、彦根市やボランティアガイドの方々の協力を得て立ち上がりました。

データサイエンス学部の現況

データサイエンス学部長

竹村 彰通

わが国初のデータサイエンス学部が滋賀大学に誕生してから2年が経過しましたが、本学部はさらなる前進を続けています。

第一に、本年4月から、これもわが国初となる大学院データサイエンス研究科（修士課程）がスタートしました。通常であれば新設学部の大大学院設立は学部の最初の卒業生が出る設立4年後でないとい認められないのですが、データサイエンスに対する社会からの強いニーズを受け、学

部設立の2年後という前倒しで設立が認められたものです。このことは、本学のこれまでの教育が高く評価された証であるとともに、後援会をはじめとする関係者の皆様のご支援に改めて御礼申し上げます。大学院には、本学が連携協定を結んでいる企業等から派遣された現役のデータサイエンティストを中心に、官公庁職員や他大学の卒業生など様々な人材が来ています。学部生諸君にとつては良い先輩ができることになり、よい刺激になるとともに将来の進路を考える際の格好のモデルにもなるものと期待しています。学部教育ではデータサイエンスの様々な手法を応用してデータから価値を創造することができるとい、データサイエンティストとしての「独り立ち」レベルを目標としています。大学院教育ではさらに進んで、既製のモデルを使いこなすだけでなく課題とデータに合わせて特別仕様のモデルを自ら立てて分析を行い価値を創造できる「高次の独り立ち」レベルから「棟梁」レベルを目標として



深圳パレーツアーでの一コマ
(makeblock社での見学)



深圳パレーツアーでの一コマ
(南方科技大学との交流会)

います。データサイエンス分野における最新の技術動向を踏まえ世界レベルの教育を提供していきますので、学部生の諸君にも将来の選択肢の一つとして考えていただければと思います。さらに本学では、これもわが国初となる大学院の博士課程を来年4月にスタートさせるべく準備を進めています。ご期待いただければと存じます。

第二に、第一期生が3年生となり、研究室への配属（ゼミ）が始まるとともに夏季休暇を利用した企業インターンシップへの準備を本格化させました。ゼミについては昨年夏から募集と選考を行い、学生諸君も先輩がいらない中で様々な悩んだことと思いますが、研究室を積極的に訪問して教員の話を聞き、それぞれが将来に向けて考え抜いた上で最良の選択を行ってくれたものと思います。本学では1回生のときから実際のデータを用いた課題解決型学習を展開してきましたが、ゼミでは一層主体的に、課題を発見してそれを解

決していくことが求められます。教員も全力で指導に当たりますので、学生諸君はぜひ高い意欲をもってゼミに取り組んでいただきたいと思えます。また、企業インターンシップについては、2回生の時点でも何人かの諸君が取り組んで企業からも高い評価を受けましたが、3回生ではさらに多くの学生にインターンシップを体験してもらいたいと考えています。そのため、学生支援課と協力して、データサイエンス学部生を対象としたインターンシップ説明会を2月に開催しました。説明会には、本学と連携している企業を中心に、製造業や情報通信業、金融業、流通業といった様々な業種の37社にご参加いただき、インターンシップに関する説明だけでなく、業界や企業の現状と課題についても話しいただきました。学生は熱心に聴き入っていました。インターンシップに参加することで卒業後の進路イメージを持つてもらうだけでなく、今後ゼミや専門的な授業が増えていく中で、さらなる勉学へのモチベーションにもつながることを期待しています。また、インターンシップをやり多いものにするために、学生諸君にはインターン参加までに統計検定や情報処理技術者試験等をクリアし、十分な基礎力を持った上でインターンに臨んでほしいと思います。

第三に、彦根商工会議所の協力を得て、2月に中国・深圳パレーツアーを実施しました。深圳は中国のシリコンバレーとも呼ばれるスタートアップの聖地として、今や世界でも最も活気のあるIT都市のひとつ

願い申し上げます。

学生活動だより

学生自主企画プロジェクト成果報告会を開催しました

です。今回は彦根商工会議所に費用を負担いただく形でデータサイエンス学部2回生の5名がツアーに参加し、企業の見学や現地学生との交流を行いました。参加した諸君は、中国のパワーに圧倒されそうになるところもあったようですが、そのパワーを糧に、将来への意欲をさらに高めてくれたものと思います。これからのデータサイエンスは世界と競争していかなくてはならず、その中でも本学はわが国をリードする立場として大きな期待を受けています。学生諸君が世界に触れる機会は今後増やしていきたいと考えていますので、ぜひ積極的に参加してもらいたいと思います。

第四に、4月から本学の教員スタッフがさらに充実しました。今回は、学生諸君の志望も多く社会的ニーズも大きい、医療統計及び医療画像解析の専門家を中心に充実を図りました。これまでも本学の陣容は日本最高レベルであると自負してき

ました。また、データサイエンスにおける理論面だけでなく様々な応用分野も含めてさらに充実しているところ

です。平成30年度の本学自己点検・評価報告書でも紹介されましたが、高校3年生を対象としたアンケートにおいて本学は「教授・講師陣が魅力的である」と評価されており、学生諸君にはぜひその魅力を十二分に享受してもらいたいと思います。

以上、データサイエンス学部の最近の発展についてご紹介させていただきました。また、我々スタッフも全力で本学部のさらなる発展に努めてまいりますので、今後とも、後援会の皆様方の変わらぬご支援、ご鞭撻をお

3月4日(月) 大津キャンパス第35講義室(テレビ会議システム・彦根キャンパスTV会議室)において、平成30年度学生自主企画プロジェクト成果報告会を開催し、両学部の学生及び教職員が多数参加しました。

この企画は、大学生の独創的、意欲的な活動を通して企画力、行動力、実践力等を培うことを目的として、学生の自主企画プロジェクトを募集し支援するものです。

平成30年度は彦根キャンパスからは、「Enjoy Baseball」「Guerrilla Gardening for SDGs」「滋賀大ラジオプロジェクト」らと寄り道 みんなの滋賀大」「CIEL七夕祭りプロジェクト」「発展途上国の現状理解と支援のあり方」の5つのプロジェクトが採択されました。

報告会では、参加者との活発な質疑応答が行われ、審査の結果、優秀なプロジェクトには、彦根キャンパスからは経済学部の「Guerrilla Gardening for SDGs」が選ばれ、喜



学生自主企画プロジェクト採択団体のポスターセッション

名副学長から副賞が贈られました。

滋賀大学学長賞について

3月18日(月)に滋賀大学学長賞授与式が行われました。

滋賀大学学長賞とは、①「極めて優秀な学業成績を挙げ、高い評価を受けた学生」、②「課外活動や、文化・社会活動などで特に顕著な成果・功績のあった学生・団体」を表彰するものです。

授与式では、喜名副学長より選考結果の概要について説明があり、位田学長から受賞者に表彰状と楯、副賞が授与されました。いずれも滋賀大学の名誉を大いに高めた功績を称えられました。

各受賞団体等と受賞理由については次のとおりです。(彦根キャンパスの学生関係のみ)

経済学部 鎌田利子



学長を囲む受賞者達

- 平成29年度全日本学生女流名人戦 第6位(全日本学生将棋連盟)
- 平成30年度西日本学生女流名人戦 第3位(関西学生将棋連盟)
- 平成29年度西日本学生女流名人戦 第3位(関西学生将棋連盟)
- 平成28年度西日本学生女流名人戦 第4位(関西学生将棋連盟)
- D S学部 石田明日香、大江隆史、神田樹、小西秀明、仲田帆志弥
- スポーツデータ解析コンペティション 分析部門(野球) 奨励賞
- 滋賀大学放送研究会(彦根キャンパス課外活動)
- 第35回NHK全国大学放送コンテスト 映像CM部門第2位
- D S学部 神田樹、近藤大貴、仲田帆志弥
- スポーツデータ解析コンペティション 分析部門(バスケットボール) 優秀賞

就職活動と支援

就職支援について

経済学部特任准教授
就職支援室長 入江直樹

後援会の皆様におかれましては、平素より経済学部の支援活動に多大のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本においては小売販売業の伸びもあり新卒採用の好調が伝えられておりますが、一方で米中貿易摩擦などのマイナス要因も増す中で、学生からすれば混沌とした状況ではないかと思われれます。インターネットやSNSなど根拠のない情報に左右されがちな学生を自ら望むキャリアへ導くために学生にとって有用な情報を提供して参りたいと思っております。どうぞよろしく願いたします。

大学院データサイエンス研究科設置について

今年4月に複数分野の領域知識をもち、方法論とデータをつなぎ、価値を生み出す人材を育成するために大学院データサイエンス研究科が設置されました。既製のモデルを使いこなすだけでなく、課題とデータに合わせ特別仕様のモデルを自ら立て、分析を行うことができ、価値を創造できるスペシャリストを目指します。

またデータサイエンス学部は北海道大学、東京大学、京都大学、大阪大学、九州大学と共に、文部科学省より数理及びデータサイエンスに係る教育強化の拠点校として選定されており、これにより大学内での数理・データサイエンス教育の充実に努めるだけでなく、全国の大学に取組成果の波及を図るため、地域や分野における拠点として他大学の数理・データサイエンス教育の強化に貢献することが期待されています。

大学が整備している就職支援体制

本学では学生の就職活動をサポートするために様々なシステム、制度を導入しております。これらによって学生が効果的、効率的に就職活動を進めることができます。また学生の就職活動を専門演習担当教員、就職委員会、就職支援室、学生支援課がこれをサポートします。それでは就職活動をサポートするシステム、制度をご紹介します。

① 滋賀大学キャンパス教育支援システム (SUCCESS : Shiga University's Campus Computer Education Support System)

就職支援室ではこのシステムを利用して就職情報やインターンシップ情報についてタイムリーに情報を提供します。刻々と変化する外部情報、学内での企業説明会、企業からの連絡、滋賀大学だから持ち得る求人情報などを学生に発信しております。

す。学生とのコミュニケーションツールとして効果的に機能しているシステムです。

② 彦根キャンパス求人情報提供システム

自宅や下宿など彦根キャンパス外からもアクセスできる彦根キャンパス在学生専用求人情報提供システムです。滋賀大生を採用したいという企業の求人情報などを提供します。学生が企業研究のための資料として活用することもできます。またこのシステムを利用してインターンシップ募集情報も提供しております。



求人情報提供システム

③ 就職支援室での就職相談

進路・就職に関する様々な相談に対応しています。毎日9時から17時まで受け付けています。主な相談内容は、

- 進路選択についての相談
 - 個人面接、集団面接の模擬訓練
 - エントリーシート、履歴書の添削
 - 求人票送付企業の紹介
- などです。時間内であれば予約なしで対応しております。昨年度は695名(前年比+73名)の学生から1,267件(前年比+18件)の相談がありました。

④ 就職支援室での情報提供

- 企業・団体からの求人情報・企業説明会情報をタイムリーに提供しています。
- OB/OG訪問のための情報を提供しています。
- 就職活動関連の書籍・雑誌・日経新聞等が自由に閲覧できます。
- 大学連携及び公募型インターンシップに関する情報を整理して提供しています。
- 公務員、大学院、税理士等専門職に関する情報を提供しています。
- 室内のパソコン(4台)を自由に利用でき、自発的な情報収集をサポートします。

⑤ 1回生から4回生まで幅広く実施されるキャリア教育や就職ガイダンスなどの充実した独自の支援プログラム

これらのシステム・制度を用いて学生を支援して参ります。

本学卒業生による就職支援体制

本学の同窓会組織である「陵水会」のバックアップを中心にして、

次のような支援が準備されています。

① 学内合同企業説明会

本年は3月に実施し、卒業生が就職をしてお世話になっていている企業で、有名大手企業中心に172社がご参加くださいました。

② 陵水懇話会

卒業後25年の先輩たち10数名にお見えいただき、業界紹介を中心に働くということにつき、いろいろと懇談してもらいます。昨年は約20名の学生が参加しました。



陵水懇話会

③ 陵水若手卒業生による就活相談会

陵水懇話会と比較してより学生に近い年代の先輩たちが自主的に運営してくれている相談会です。卒業後10年未満の先輩たち十数名が出席され、毎回50名以上の学生が参加して

います。年2回開催です。学生は若手社会人ならではの本音の話しを聞くことができます。

④ 陵水会計人会懇談会

伝統的に卒業生の公認会計士と税务师を多数輩出しておりますが、本学の学生たちにも志望者は沢山います。先輩たちの現役の会計士・税务师の方をお招きして、会計士・税务师の仕事、勉強の仕方などについて忌憚のない意見交換をしていただく懇談会です。

⑤ 女子学生のための陵水OGキャリアアゲイダンス

女性の働く力が大いに求められる時代になって参りました。働くOGと女子学生による女性同士ならではの懇談会と座談会により、働く女性のロールモデル形成と面接などの採用試験における情報提供に努めています。

⑥ 支部別就職支援行事の開催

名古屋支部を中心に各支部でその地域で活動するOBが学生に地域ならではの情報を伝えるイベントを開催していただいております。

これら以外にも学生のOB/OG訪問など様々なところで卒業生の方々のご支援をいただいております。

本学の卒業生は、前身の旧制彦根高等商業学校時代からの90余年の伝統を受け継ぎ、金融・保険・商業・



陵水会計人会懇談会

製造業・IT業界等全国的規模で経済界に進出し活躍していますが、官公庁・教育界・学界へも進出しています。

就職状況

平成30年度就職状況

経済学部特任准教授
就職支援室長 入江直樹
昨年(平成30年)度の就職状況について

① 経済学部の就職決定率は一昨年(99.3%)を1.7ポイント下回る97.6%。

*就職決定率
= 就職決定者 / 就職希望者

② 業種別就職先割合では、製造業27.0%、金融業16.2%、情報通信業10.5%とこの3業種で約半数を占めております。続いて、官公庁、卸売業、保険業となっております。

③ 企業規模別では、大企業への就職率が6割強と大企業志向は伝統的に変わらないといえます。大企業に拘った就職活動によって思うような成果を得られない学生がいる一方でベンチャー企業を希望して活動する学生もおり、進路選択が多様化してきているのではと感じさせられる傾向にあります。

2019年度の就職戦線について

企業の採用活動開始時期は昨年同様に、企業の採用広報開始は3回生の3月から、選考開始は4回生の6月から、内定は10月と定められております。しかし、経団連が就職協定を破棄することを表明したことでこの大枠が崩れつつあります。経団連に代わって政府が就職協定を継続する方向を打ち出していますが、インターンシップの早期化、選考手段化と共にこの就職協定が形骸化していくことは明らかです。

先の見えない中での就職活動となりますので就職支援室から根拠に基づいた正確な情報の発信に努めて参ります。引き続きましてご支援賜りますようお願い申し上げます。

| 会社名 | 計 | 男 | 女 |
|---------------------------|---|---|---|
| 127 ヤンマー㈱ | 1 | 1 | |
| 128 愛三工業㈱ | 1 | 1 | |
| 129 各務原航空機器㈱ | 1 | 1 | |
| 130 ㈱ティラド | 2 | 2 | |
| 131 ㈱マキタ | 1 | 1 | |
| 132 ㈱ティラド | 1 | 1 | |
| 133 三恵工業㈱ | 1 | 1 | |
| 134 川崎重工㈱ | 1 | 1 | |
| 135 大洋工業㈱ | 1 | 1 | |
| 136 大和精工㈱ | 2 | 2 | |
| 137 豊田合成㈱ | 1 | 1 | |
| 138 本田技研工業㈱ | 1 | 1 | |
| その他製造 | | | |
| 139 アークレイ㈱ | 1 | 1 | |
| 140 ダイニチ工業㈱ | 1 | 1 | |
| 141 タカスタンダード㈱ | 1 | 1 | |
| 142 トヨタ㈱ | 1 | 1 | |
| 143 プラス㈱ | 1 | 1 | |
| 144 ㈱ヨータイ | 2 | 1 | 1 |
| 145 ㈱MTG | 1 | 1 | |
| 146 ㈱イムラ封筒 | 1 | 1 | |
| 147 ㈱ヨータイ | 1 | 1 | |
| 148 藤井電工㈱ | 1 | 1 | |
| 149 日本工機㈱ | 1 | 1 | |
| 150 日本電気硝子㈱ | 3 | 2 | 1 |
| 151 美津濃㈱ | 1 | 1 | |
| 光熱水業 | | | |
| 152 西部ガス | 1 | 1 | |
| 153 中部電力㈱ | 2 | 2 | |
| 情報通信業 | | | |
| 154 ㈱オークファン | 1 | 1 | |
| 155 ㈱デンツウデジタル | 1 | 1 | |
| 156 ㈱プロソフト | 1 | 1 | |
| 157 minoriソリューションズ | 1 | 1 | |
| 158 MS&ADシステムズ㈱ | 1 | 1 | |
| 159 NECソリューションイノベータ㈱ | 1 | 1 | |
| 160 SGシステム㈱ | 1 | 1 | |
| 161 Sky㈱ | 1 | 1 | |
| 162 UTテクノロジ㈱ | 1 | 1 | |
| 163 アイシン・インフォテックス㈱ | 1 | 1 | |
| 164 アビームシステムズ㈱ | 2 | 2 | |
| 165 サントリーシステムテクノロジー㈱ | 1 | 1 | |
| 166 シグマトロン㈱ | 1 | 1 | |
| 167 システムリサーチ | 1 | 1 | |
| 168 ミセイ情報システム㈱ | 1 | 1 | |
| 169 タック㈱ | 1 | 1 | |
| 170 ディアモンドアイ情報システム | 1 | 1 | |
| 171 テクノプロ・IT社 | 1 | 1 | |
| 172 ニッセイ情報テクノロジー㈱ | 2 | 1 | 1 |
| 173 ネットフォース㈱ | 1 | 1 | |
| 174 パーソルプロセス&テクノロジー㈱ | 1 | 1 | |
| 175 マークラインズ㈱ | 1 | 1 | |
| 176 ユニコ・アソシエイツ㈱ | 1 | 1 | |
| 177 楽天㈱ | 1 | 1 | |
| 178 ㈱日新システムズ | 1 | 1 | |
| 179 ㈱日立ソリューションズ・クリエイト | 2 | 2 | |
| 180 ㈱ALLCONNECT | 1 | 1 | |
| 181 ㈱JSOL | 1 | 1 | |
| 182 ㈱NSD | 2 | 2 | |
| 183 ㈱SHIFT | 1 | 1 | |
| 184 ㈱アクセス | 1 | 1 | |
| 185 ㈱アグレックス | 1 | 1 | |
| 186 ㈱インテック | 1 | 1 | |
| 187 ㈱オージス総研 | 1 | 1 | |
| 188 ㈱サイエンスネット | 1 | 1 | |
| 189 ㈱シオン | 1 | 1 | |
| 190 ㈱システムサポート | 1 | 1 | |
| 191 ㈱スポーツニッポン新聞社 | 1 | 1 | |
| 192 ㈱セカンドセレクション | 1 | 1 | |
| 193 ㈱ディンブス | 1 | 1 | |
| 194 ㈱ネオ | 2 | 2 | |
| 195 ㈱プロトコーポレーション | 1 | 1 | |
| 196 ㈱大塚商会 | 1 | 1 | |
| 197 ㈱第一コンピュータリソース | 1 | 1 | |
| 198 ㈱電算システム | 1 | 1 | |
| 199 ㈱クレオ | 1 | 1 | |
| 200 三菱UFJインフォメーションテクノロジー㈱ | 1 | 1 | |
| 201 総合ユニコム㈱ | 1 | 1 | |
| 202 日本IBM㈱ | 1 | 1 | |
| 203 日本インサイトテクノロジー | 1 | 1 | |
| 204 富士ソフト㈱ | 1 | 1 | |
| 運輸業、郵便業 | | | |
| 205 SGホールディングス㈱ | 1 | 1 | |
| 206 ㈱東海交通事業 | 1 | 1 | |
| 207 ㈱近畿日本鉄道 | 1 | 1 | |

| 会社名 | 計 | 男 | 女 |
|--------------------|---|---|---|
| 47 中谷エネテック㈱ | 1 | 1 | |
| 48 東亜合成㈱ | 1 | 1 | |
| 49 日本ペイントホールディングス | 1 | 1 | |
| 50 日本臓器製薬㈱ | 1 | 1 | |
| 鉄鋼・非鉄金属等製造 | | | |
| 51 DOWAホールディングス㈱ | 1 | 1 | |
| 52 MMCリョウテック㈱ | 1 | 1 | |
| 53 ケイエスティ㈱ | 1 | 1 | |
| 54 マルホ発條工業㈱ | 1 | 1 | |
| 55 奥地建産㈱ | 1 | 1 | |
| 56 ㈱関西金属工業所 | 1 | 1 | |
| 57 ㈱神戸製鋼所 | 4 | 2 | 2 |
| 58 三協立山㈱ | 1 | 1 | |
| 59 三郷金属工業㈱ | 1 | 1 | |
| 60 大和工業㈱ | 2 | 2 | |
| 61 福栄鋼材㈱ | 1 | 1 | |
| 62 六甲金属 | 1 | 1 | |
| はん用・業務用製造 | | | |
| 63 ㈱オーケーエム | 1 | 1 | |
| 64 THK㈱ | 1 | 1 | |
| 65 TOWA㈱ | 1 | 1 | |
| 66 オークマ㈱ | 1 | 1 | |
| 67 クボタ | 1 | 1 | |
| 68 ニプロ㈱ | 1 | 1 | |
| 69 リョービ㈱ | 1 | 1 | |
| 70 井関農機 | 1 | 1 | |
| 71 ㈱クボタ | 1 | 1 | |
| 72 ㈱岩田製作所 | 1 | 1 | |
| 73 ㈱IHI | 1 | 1 | |
| 74 ㈱アイゼン | 1 | 1 | |
| 75 ㈱アビステ | 1 | 1 | |
| 76 ㈱アマダホールディングス | 1 | 1 | |
| 77 ㈱アヤマエンジニアリング | 1 | 1 | |
| 78 ㈱イシダ | 2 | 1 | 1 |
| 79 ㈱デンソーウェーブ | 1 | 1 | |
| 80 ㈱フジテック | 1 | 1 | |
| 81 ㈱椿本チエイン | 1 | 1 | |
| 82 ㈱日立建機ティエラ | 4 | 1 | 3 |
| 83 ㈱堀場エステック | 1 | 1 | |
| 84 ㈱H&F | 1 | 1 | |
| 85 ㈱タカコ | 1 | 1 | |
| 86 上海松井机械有限公司 | 1 | 1 | |
| 87 新東工業㈱ | 1 | 1 | |
| 88 川重冷熱工業㈱ | 2 | 1 | 1 |
| 89 村田機械㈱ | 2 | 1 | 1 |
| 90 日本スピンドル製造㈱ | 1 | 1 | |
| 91 兵神装備㈱ | 1 | 1 | |
| 電子部品等製造 | | | |
| 92 イビデン㈱ | 1 | 1 | |
| 93 コーデンシ㈱ | 1 | 1 | |
| 94 ローム㈱ | 1 | 1 | |
| 95 ㈱ニテコン | 1 | 1 | |
| 96 ㈱村田製作所 | 2 | 2 | |
| 97 ㈱福井村田製作所 | 1 | 1 | |
| 98 京セラ㈱ | 2 | 2 | |
| 99 日本電産サンキョー㈱ | 1 | 1 | |
| 100 日本電産テクノモータ㈱ | 1 | 1 | |
| 電気・情報通信製造 | | | |
| 101 GSユアサ | 1 | 1 | |
| 102 オプテックス㈱ | 1 | 1 | |
| 103 キヤノンメディカルシステムズ | 1 | 1 | |
| 104 セイコーエプソン㈱ | 1 | 1 | |
| 105 パナソニックエコシステムズ㈱ | 1 | 1 | |
| 106 パナソニック㈱ | 1 | 1 | |
| 107 フォスター電機㈱ | 1 | 1 | |
| 108 愛知電機㈱ | 1 | 1 | |
| 109 沖電気工業㈱ | 1 | 1 | |
| 110 音羽電機工業㈱ | 1 | 1 | |
| 111 夏原工業㈱ | 1 | 1 | |
| 112 ㈱パツファロー | 2 | 2 | |
| 113 ㈱ミマエンジニアリング | 1 | 1 | |
| 114 ㈱日立製作所 | 1 | 1 | |
| 115 ㈱キーエンス | 2 | 2 | |
| 116 ㈱コンテック | 1 | 1 | |
| 117 ㈱日立製作所 | 1 | 1 | |
| 118 ㈱GSユアサ | 1 | 1 | |
| 119 三菱電機㈱ | 5 | 4 | 1 |
| 120 東朋テクノロジー㈱ | 1 | 1 | |
| 121 日本電気㈱ | 2 | 1 | 1 |
| 122 富士ゼロックス㈱ | 1 | 1 | |
| 輸送用機械製造 | | | |
| 123 KYB㈱ | 1 | 1 | |
| 124 ダイハツ工業㈱ | 1 | 1 | |
| 125 デンソー㈱ | 1 | 1 | |
| 126 フタバ産業㈱ | 1 | 1 | |

平成30年度就職状況

〔経済学部〕 令和元年5月1日現在
○進路別内訳

| | 計 | 男子 | 女子 |
|-------|-----|-----|-----|
| 卒業生 | 601 | 383 | 218 |
| 進学者 | | | |
| 大学院 | 7 | 3 | 4 |
| 大学学部等 | 0 | 0 | 0 |
| 専修学校等 | 0 | 0 | 0 |
| 就職者 | | | |
| 企業就職 | 498 | 319 | 179 |
| 公務員 | 51 | 30 | 21 |
| その他 | 45 | 31 | 14 |

進学先・就職先一覧

○進路先内訳

| 進路先 | 計 | 男 | 女 |
|--|---|---|---|
| 大学院進学 | | | |
| 1 UCL大学大学院Development planning Unit研究科 | 1 | 1 | |
| 2 オーストラリア国立大学 Master of economics | 1 | 1 | |
| 3 滋賀大学大学院 経済学研究科 | 1 | 1 | |
| 4 滋賀大学大学院 データサイエンス研究科 | 1 | 1 | |
| 5 大阪学院大学大学院 経済学研究科 | 1 | 1 | |
| 6 神戸大学経済経営研究科 | 1 | 1 | |
| 7 名古屋大学大学院 | 2 | 1 | 1 |

○就職先内訳（産業別・業種別）

| 会社名 | 計 | 男 | 女 |
|---------------------|---|---|---|
| 建設業 | | | |
| 1 ELJソーラーコーポレーション㈱ | 1 | 1 | |
| 2 ダイキンエアテクノ㈱ | 1 | 1 | |
| 3 ㈱アキュラホーム | 1 | 1 | |
| 4 ㈱トーエネック | 2 | 1 | 1 |
| 5 ㈱安藤・間 | 1 | 1 | |
| 6 ㈱一条工務店 | 3 | 2 | 1 |
| 7 ㈱奥村組 | 1 | 1 | |
| 8 ㈱熊谷組 | 1 | 1 | |
| 9 ㈱竹中工務店 | 1 | 1 | |
| 10 ㈱浅沼組 | 1 | 1 | |
| 11 ㈱銭高組 | 1 | 1 | |
| 12 ㈱中電工 | 1 | 1 | |
| 13 三菱電機ビルテクノサービス㈱ | 1 | 1 | |
| 14 小田急ビルサービス㈱ | 1 | 1 | |
| 15 清水建設㈱ | 1 | 1 | |
| 16 積水ハウス㈱ | 1 | 1 | |
| 17 千代田化工建設㈱ | 1 | 1 | |
| 18 日揮㈱ | 1 | 1 | |
| 19 揖斐川工業㈱ | 1 | 1 | |
| 食料・飲料等製造 | | | |
| 20 UCC上島珈琲㈱ | 1 | 1 | |
| 21 エスビー食品㈱ | 1 | 1 | |
| 22 サントリーホールディングス | 1 | 1 | |
| 23 ニッセイ㈱ | 1 | 1 | |
| 24 プリマム㈱ | 1 | 1 | |
| 25 ㈱Mizkan Holdings | 1 | 1 | |
| 26 ㈱北の達人コーポレーション | 1 | 1 | |
| 27 ㈱フジパン | 1 | 1 | |
| 28 山崎製パン㈱ | 1 | 1 | |
| 29 第一屋製パン㈱ | 1 | 1 | |
| 30 日本ビュアフード㈱ | 1 | 1 | |
| 31 日本製粉㈱ | 1 | 1 | |
| 32 宝ホールディングス㈱ | 1 | 1 | |
| 繊維工業 | | | |
| 33 ㈱サンエス | 1 | 1 | |
| 34 ㈱デザート | 1 | 1 | |
| 35 東洋紡㈱ | 1 | 1 | |
| 印刷・同関連業 | | | |
| 36 NISSHA㈱ | 1 | 1 | |
| 37 ㈱ロータリービジネス | 1 | 1 | |
| 38 大日本印刷㈱ | 1 | 1 | |
| 化学・石油等製品製造 | | | |
| 39 フタムラ化学㈱ | 1 | 1 | |
| 40 塩野義製薬㈱ | 1 | 1 | |
| 41 ㈱ダイセキ | 1 | 1 | |
| 42 ㈱トクヤマ | 1 | 1 | |
| 43 ㈱大阪ソーダ | 1 | 1 | |
| 44 ㈱T&K TOKA | 1 | 1 | |
| 45 四国化成工業㈱ | 1 | 1 | |
| 46 大正製薬㈱ | 1 | 1 | |

| | 会社名 | 計 | 男 | 女 |
|-----|------------------|---|---|---|
| 368 | 京都税理士法人 | 1 | | 1 |
| 369 | 税理士法人 創経 | 1 | | 1 |
| 370 | 東京コンサルティングファーム | 1 | 1 | |
| 371 | 日本経営ウィル税理士法人 | 2 | 2 | |
| 372 | ㈱ZEALS | 1 | 1 | |
| | 宿泊・飲食 | | | |
| 373 | ルートイン㈱ | 1 | 1 | |
| 374 | ㈱にっこう | 1 | 1 | |
| 375 | ㈱ブロンコビリー | 1 | 1 | |
| 376 | ㈱ユニマツプレシヤス | 1 | 1 | |
| | 生活関連サービス | | | |
| 377 | WBFホールディングス㈱ | 1 | 1 | |
| 378 | ㈱いまじん | 1 | 1 | |
| 379 | ㈱タクティブ | 1 | 1 | |
| | 学校教育 | | | |
| 380 | 愛知県教育委員会 | 1 | 1 | |
| 381 | 学校法人 常翔学園 | 1 | 1 | |
| 382 | 学校法人 藍野大学 | 1 | 1 | |
| 383 | 学校法人大阪産業大学 | 1 | 1 | |
| 384 | ㈱トライグループ | 1 | 1 | |
| 385 | 国立大学法人滋賀大学 | 2 | 2 | |
| 386 | 三幸学園 | 1 | 1 | |
| 387 | 京都府立京都すばる高校 | 1 | 1 | |
| | その他教育 | | | |
| 388 | ひかり塾 | 1 | 1 | 1 |
| | 社会保険・福祉 | | | |
| 389 | ㈱ベネッセスタイルケア | 1 | 1 | 1 |
| | 複合サービス | | | |
| 390 | JA兵庫六甲 | 1 | 1 | |
| 391 | 日本郵便㈱ | 2 | 1 | 1 |
| | その他サービス | | | |
| 392 | dowaサーモエンジニアリング㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 393 | ㈱アウトソーシングテクノロジー | 1 | 1 | |
| 394 | ディップ㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 395 | ㈱TTM | 1 | 1 | 1 |
| 396 | ㈱アウトソーシング | 1 | 1 | 1 |
| 397 | ㈱イトマンスイミングスクール | 1 | 1 | 1 |
| 398 | ㈱エンカレッジ | 1 | 1 | 1 |
| 399 | ㈱トーカイ | 1 | 1 | 1 |
| 400 | ㈱ネオキャリア | 2 | 1 | 1 |
| 401 | ㈱ネクストビート | 1 | 1 | 1 |
| 402 | ㈱マイナビ | 2 | 1 | 1 |
| 403 | ㈱乗馬クラブクレイン | 1 | 1 | 1 |
| 404 | ㈱ホリデー | 1 | 1 | 1 |
| 405 | ㈱メディック | 1 | 1 | 1 |
| 406 | ㈱リジョブ | 1 | 1 | 1 |
| 407 | 京都商工会議所 | 1 | 1 | 1 |
| 408 | 名古屋港管理組合 | 1 | 1 | 1 |
| | 国家公務 | | | |
| 409 | 愛知労働局 | 1 | 1 | 1 |
| 410 | 岐阜労働局 | 1 | 1 | 1 |
| 411 | 京都労働局 | 1 | 1 | 1 |
| 412 | 金沢国税局 | 1 | 1 | 1 |
| 413 | 広島国税局 | 1 | 1 | 1 |
| 414 | 財務省名古屋税関 | 1 | 1 | 1 |
| 415 | 中部経済産業局 | 1 | 1 | 1 |
| 416 | 福井労働局 | 1 | 1 | 1 |
| 417 | 福岡国税局 | 1 | 1 | 1 |
| 418 | 名古屋国税局 | 3 | 2 | 1 |
| 419 | 名古屋税関 | 1 | 1 | 1 |
| 420 | 名古屋入国管理局 | 1 | 1 | 1 |
| | 地方公務 | | | |
| 421 | 広島市役所 | 1 | 1 | 1 |
| 422 | 愛知県庁 | 1 | 1 | 1 |
| 423 | 一宮市役所 | 1 | 1 | 1 |
| 424 | 岐阜県庁 | 1 | 1 | 1 |
| 425 | 宮城県教育委員会 | 1 | 1 | 1 |
| 426 | 京都市消防局 | 1 | 1 | 1 |
| 427 | 京都市役所 | 3 | 2 | 1 |
| 428 | 京都府庁 | 1 | 1 | 1 |
| 429 | 甲賀市役所 | 1 | 1 | 1 |
| 430 | 堺市役所 | 2 | 1 | 1 |
| 431 | 滋賀県警察 | 1 | 1 | 1 |
| 432 | 滋賀県庁 | 7 | 2 | 5 |
| 433 | 城陽市役所 | 1 | 1 | 1 |
| 434 | 西尾市役所 | 1 | 1 | 1 |
| 435 | 大垣市役所 | 1 | 1 | 1 |
| 436 | 大阪市役所 | 1 | 1 | 1 |
| 437 | 大阪府庁 | 4 | 1 | 3 |
| 438 | 大津市役所 | 3 | 1 | 2 |
| 439 | 鳥取県庁 | 1 | 1 | 1 |
| 440 | 鳥取市役所 | 1 | 1 | 1 |
| 441 | 東海市役所 | 1 | 1 | 1 |
| 442 | 彦根市役所 | 1 | 1 | 1 |
| 443 | 福崎町役場 | 1 | 1 | 1 |

| | 会社名 | 計 | 男 | 女 |
|-----|-----------------------------|---|---|---|
| 290 | ㈱三菱UFJ銀行 | 1 | 1 | |
| 291 | ㈱百五銀行 | 1 | 1 | |
| 292 | 三井住友信託銀行㈱ | 2 | 1 | 1 |
| 293 | ㈱大垣共立銀行 | 3 | 3 | |
| 294 | ㈱百五銀行 | 1 | 1 | 1 |
| | 金融（協同組織） | | | |
| 295 | 愛知県信用農業協同組合連合会 | 1 | 1 | |
| 296 | 大阪信用金庫 | 1 | 1 | |
| 297 | ㈱商工組合中央金庫 | 1 | 1 | |
| 298 | 岐阜県信用農業協同組合連合会 | 1 | 1 | |
| 299 | 京都中央信用金庫 | 2 | 2 | 2 |
| 300 | 京都信用金庫 | 1 | 1 | 1 |
| 301 | 滋賀県信用農業協同組合連合会 | 1 | 1 | 1 |
| 302 | 商工組合中央金庫 | 1 | 1 | 1 |
| 303 | 城北信用金庫 | 1 | 1 | 1 |
| 304 | 大阪厚生信用金庫 | 1 | 1 | 1 |
| 305 | 播州信用金庫 | 1 | 1 | 1 |
| | 金融（証券） | | | |
| 306 | SMBC日興証券㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 307 | ゴールドマン・サックス証券㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 308 | ㈱名古屋証券取引所 | 1 | 1 | 1 |
| 309 | 東海東京フィナンシャルホールディングス㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 310 | 播陽証券㈱ | 1 | 1 | 1 |
| | 金融（その他） | | | |
| 311 | オリックス㈱ | 2 | 2 | 2 |
| 312 | さわかみ投信㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 313 | トヨタファイナンス㈱ | 4 | 2 | 2 |
| 314 | ニッセイアセットマネジメント㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 315 | ㈱ジェシービー | 1 | 1 | 1 |
| 316 | ㈱日本政策金融公庫 | 2 | 1 | 1 |
| 317 | ㈱アプラス | 1 | 1 | 1 |
| 318 | 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 319 | 三井住友ファイナンス&リース | 1 | 1 | 1 |
| 320 | 大阪ガスファイナンス㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 321 | 日立キャピタル㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 322 | 兵庫県信用保証協会 | 2 | 1 | 1 |
| 323 | 名古屋中小企業投資育成㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 324 | 明治安田アセットマネジメント | 1 | 1 | 1 |
| | 保険業 | | | |
| 325 | あいおいニッセイ同和損害保険㈱ | 2 | 1 | 1 |
| 326 | ソニー損害保険㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 327 | 三井住友海上火災保険㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 328 | 三井生命保険㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 329 | 滋賀県市町村職員共済組合 | 1 | 1 | 1 |
| 330 | 滋賀県民共済生活協同組合 | 1 | 1 | 1 |
| 331 | 住友生命保険相互会社 | 2 | 1 | 1 |
| 332 | 全国労働者共済生活協同組合連合会 | 2 | 1 | 1 |
| 333 | 太陽生命保険㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 334 | 大同生命保険㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 335 | 第一生命保険㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 336 | 東京海上日動火災保険㈱ | 2 | 2 | 2 |
| 337 | 東日本建設業保証㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 338 | 日本生命保険相互会社 | 4 | 1 | 3 |
| 339 | 富国生命保険相互会社 | 1 | 1 | 1 |
| 340 | 明治安田生命保険相互会社 | 1 | 1 | 1 |
| | 不動産・賃貸業 | | | |
| 341 | ㈱ケン・コーポレーション | 1 | 1 | 1 |
| 342 | ㈱LIFULL | 1 | 1 | 1 |
| 343 | ㈱長谷エライブネット | 1 | 1 | 1 |
| 344 | ㈱学生情報センター | 1 | 1 | 1 |
| 345 | 関電不動産開発㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 346 | 三井不動産リアルティ㈱ | 2 | 1 | 1 |
| 347 | 大和リース㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 348 | 東建コーポレーション㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 349 | 独立行政法人都市再生機構 | 2 | 2 | 2 |
| | 物品賃貸業 | | | |
| 350 | JA三井リース | 1 | 1 | 1 |
| 351 | ㈱レンタルのニッケン | 1 | 1 | 1 |
| 352 | 興銀リース㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 353 | 住友三井オートサービス㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 354 | 神鋼リース㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 355 | 芙蓉総合リース㈱ | 1 | 1 | 1 |
| | その他専門・技術 | | | |
| 356 | ㈱西日本技術コンサルタンツ | 1 | 1 | 1 |
| 357 | KID MEDIA HOUSE | 1 | 1 | 1 |
| 358 | アビーム コンサルティング㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 359 | デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社 | 1 | 1 | 1 |
| 360 | ランドマーク税理士法人 | 1 | 1 | 1 |
| 361 | レイス㈱ | 2 | 2 | 2 |
| 362 | ㈱電通ライブ | 1 | 1 | 1 |
| 363 | ㈱NIコンサルティング | 1 | 1 | 1 |
| 364 | ㈱ギークピクチャーズ | 1 | 1 | 1 |
| 365 | ㈱ノティオ | 1 | 1 | 1 |
| 366 | ㈱プライマルヴェニュー | 1 | 1 | 1 |
| 367 | ㈱マクロミル | 1 | 1 | 1 |

| | 会社名 | 計 | 男 | 女 |
|-----|--------------------------|---|---|---|
| 208 | ㈱ジェイアール東日本物流 | 1 | 1 | 1 |
| 209 | 鴻池運輸㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 210 | 三菱商事ロジスティクス㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 211 | 新日本海フェリー㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 212 | 神姫バス | 1 | 1 | 1 |
| 213 | 西日本旅客鉄道㈱ | 2 | 1 | 1 |
| 214 | 西濃運輸㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 215 | 東海旅客鉄道㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 216 | 東日本旅客鉄道㈱ | 2 | 2 | 2 |
| | 卸売業 | | | |
| 217 | D&X㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 218 | JFE商事㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 219 | エプソン販売㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 220 | キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 221 | コンドーテック㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 222 | ソフトバンクコマース&サービス㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 223 | タケショー（株） | 1 | 1 | 1 |
| 224 | トラスコ中山㈱ | 3 | 2 | 1 |
| 225 | マルカキカイ㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 226 | ユアサ商事㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 227 | リコージャパン㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 228 | 伊藤忠商事㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 229 | 伊藤忠食品㈱ | 2 | 2 | 2 |
| 230 | 井上㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 231 | 岡谷鋼機㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 232 | 加藤産業㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 233 | ㈱アビステ | 1 | 1 | 1 |
| 234 | ㈱うおいち | 1 | 1 | 1 |
| 235 | ㈱サンゲツ | 1 | 1 | 1 |
| 236 | ㈱たけびし | 1 | 1 | 1 |
| 237 | ㈱ミスミ | 1 | 1 | 1 |
| 238 | ㈱羽根田商会 | 1 | 1 | 1 |
| 239 | ㈱未来 | 1 | 1 | 1 |
| 240 | ㈱日本アクセス | 1 | 1 | 1 |
| 241 | 丸眞㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 242 | 阪和興業㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 243 | 三菱商事㈱ | 2 | 2 | 2 |
| 244 | 双日㈱ | 2 | 2 | 2 |
| 245 | 渡辺パイプ㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 246 | 菱電商事㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 247 | 明鋼材㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 248 | 明和産業㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 249 | 矢崎総業㈱ | 1 | 1 | 1 |
| | 小売業 | | | |
| 250 | イオンリテール㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 251 | ウエルシア薬局㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 252 | ゲンキー㈱ | 1 | 1 | 1 |
| 253 | トヨタ生活協同組合 | 1 | 1 | 1 |
| 254 | ㈱ライフコーポレーション | 2 | 2 | 2 |
| 255 | ㈱クスリのアオキ | 1 | 1 | 1 |
| 256 | ㈱キタムラ | 1 | 1 | 1 |
| 257 | ㈱ジーユー | 1 | 1 | 1 |
| 258 | ㈱シッパ | 1 | 1 | 1 |
| 259 | ㈱ストライプインターナショナル | 1 | 1 | 1 |
| 260 | ㈱セブンイレブンジャパン | 1 | 1 | 1 |
| 261 | ㈱マツモトキヨシホールディングス | 1 | 1 | 1 |
| 262 | ㈱関西ケーズデンキ | 1 | 1 | 1 |
| 263 | ㈱阪急阪神百貨店 | 1 | 1 | 1 |
| 264 | ㈱精文館書店 | 1 | 1 | 1 |
| 265 | ㈱ドン・キホーテ | 1 | 1 | 1 |
| 266 | 生活協同組合おかやまコープ | 1 | 1 | 1 |
| 267 | 大黒天物産㈱ | 1 | 1 | 1 |
| | 金融（銀行） | | | |
| 268 | ㈱三重銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 269 | ㈱山陰合同銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 270 | ㈱大垣共立銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 271 | ㈱あおぞら銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 272 | ㈱みなと銀行 | 2 | 1 | 1 |
| 273 | ㈱りそな銀行 | 2 | 1 | 1 |
| 274 | ㈱関西アーバン銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 275 | ㈱京都銀行 | 8 | 8 | 8 |
| 276 | ㈱三井住友銀行 | 4 | 3 | 1 |
| 277 | ㈱三菱UFJ銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 278 | ㈱滋賀銀行 | 9 | 3 | 6 |
| 279 | ㈱鹿児島銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 280 | ㈱十六銀行 | 3 | 3 | 3 |
| 281 | ㈱南都銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 282 | ㈱八十二銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 283 | ㈱百十四銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 284 | ㈱福井銀行 | 2 | 2 | 2 |
| 285 | ㈱北陸銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 286 | ㈱名古屋銀行 | 2 | 2 | 2 |
| 287 | ㈱ゆうちょ銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 288 | ㈱京都銀行 | 1 | 1 | 1 |
| 289 | ㈱三重銀行 | 1 | 1 | 1 |



「滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度」は、データサイエンス学部設置（平成29年4月）に伴い既設制度の対象試験等について一部改正をしたものであります。日頃の学生諸君の勉学等を支援し、資質の向上を目的とするもので、サポート対象基準を満たすことによりその功績を称え報奨金を給付するものであります。

平成26年度から運用し、229件に対して給付されました。学生からは、「ステップアップのための資金としたい。」との頼もしい発言があり、今後も、多くの学生諸君から応募していただけるよう願っています。

学生諸君には、別途、学内においてお知らせしていますが、保護者の皆さまにおかれましても、ご覧いただいた上で、お子様にお伝えいただきたく存じます。

今後、より良き制度に改善して行きたいと考えておりますので、会員の皆さまからも是非ともご意見等お寄せいただければ幸いです。

【お問い合わせ】

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務係

TEL 0749-27-1030

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度

- 趣旨
この制度は、スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的とする。
- ガイドライン
滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度の運用にあたり、次のとおりガイドラインを定める。
なお、報奨額については、年度毎の申請者総数に基づき、ガイドラインに示す額を上限とし予算の範囲内において決定する。

| 分類 | サポート対象事項 | 基準 | 報奨額 (上限) |
|-------------|---|---------------------------|----------|
| 資格・認定試験 | 1. 税理士試験 (申請は、基準①、②のいずれか1回に限る。) | ①会計学に属する科目の中から、いずれか1科目合格者 | 70,000円 |
| | | 2科目同時合格者 | 100,000円 |
| | 2. 公認会計士試験 | ②税法に属する科目の中から、いずれか1科目合格者 | 40,000円 |
| | | 「短答式試験」合格者 | 100,000円 |
| | 3. 日商簿記検定試験 | 「論文式試験」合格者 | 50,000円 |
| | | 「一級」合格者 | 50,000円 |
| | 4. 証券アナリスト試験 | 「第1次レベル試験」合格者 | 30,000円 |
| | | 「第2次レベル試験」合格者 | 40,000円 |
| | 5. データベーススペシャリスト試験 | 合格者 | 50,000円 |
| | 6. 品質管理検定 | 「一級」合格者 | 50,000円 |
| 7. 統計検定「一級」 | 「統計数理」、「統計応用」のいずれか1科目合格者 | 50,000円 | |
| | 2科目合格者 | 20,000円 | |
| 語学試験 | 8. TOEIC (公開テスト) (原則として、編入学試験又は帰国子女入試枠での入学者及び外国人留学生は除く。) | 800点以上 | 30,000円 |
| | | 900点以上 | 50,000円 |
| 留学 | 9. 本学交換留学制度に基づく海外留学 (平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者は除く。) | アジア圏 | 40,000円 |
| | | その他 | 80,000円 |
| その他 | 10. スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体、又は、上記1～8に相当すると思われる事項 | 申請に基づき、後援会役員会で審査のうえ、決定する。 | |

注) ①「資格試験・認定試験」については、同一基準での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。ただし、税理士試験については、基準①、②のいずれか1回限りとする。

②「語学試験」については、同一言語での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。また、試験言語を、母語とする者は申請できない。

③編入学試験又は帰国子女入試枠で学部に入学者及び外国人留学生が、語学試験で申請する場合は、事前に問い合わせることとする。

④「本学交換留学制度に基づく海外留学」については、平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者、滋賀大学経済学部学術後援基金助成金受給者及び(独)日本学生支援機構の海外留学支援制度(協定派遣)奨学金受給者で受給期間が3月を超える者は申請できない。

⑤「その他」の資格申請(第2次試験合格をもって資格取得となる中小企業診断士等)の基準については、2次レベル試験合格者とし、報奨額は50,000円とする。

⑥対象者は、経済学部、データサイエンス学部及び経済学研究科、データサイエンス研究科の正規の課程に在籍する学生で(休学中を含む。)在籍期間中に、後援会が定める基準を満たした者とする。ただし、入学年度の9月末日(秋学期入学の場合は、入学年度の12月末日)までに後援会費を未納の場合は対象としない。

⑦報奨額については、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て調整することができる。

⑧本ガイドラインの改廃は、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て決定する。

後援会総会

4月4日(木)入学式後に開催されました経済学部・データサイエンス学部後援会総会には、多数の皆様のご出席をいただきありがとうございました。

総会では、戸田後援会会長、田中経済学部長、竹村データサイエンス学部長の挨拶、平成30年度決算及び令和元年度予算案の審議、新委員の選出があり、続いて、両学部長から学部の現況等について報告がありました。総会で承認されました平成30年度決算及び令和元年度予算について、出席いただけなかった会員の皆様に、ここに決算書と予算書を掲載させていただきます。



後援会総会で説明する戸田会長
及び田中・竹村両学部長

平成30年度 経済学部・データサイエンス学部後援会収支報告

(単位:円)

| 収入 | 科目 | 予算額 | 備考 |
|------------|----|------------|--------------|
| 前年度繰越額 | | 2,711,357 | |
| 会費(学部新入生) | | 12,995,000 | 565人×@23,000 |
| 会費(編入生) | | 149,500 | 13人×@11,500 |
| 会費(大学院新入生) | | 161,000 | 14人×@11,500 |
| 利息 | | 80 | |
| 収入合計 | | 16,016,937 | |

(単位:円)

| 支出 | 科目 | 予算額 | 支出額 | 過不足額 | 備考 |
|----------------|----|------------|------------|-----------|-------------------------|
| ①厚生体育費補助 | | 2,960,000 | 2,920,304 | 39,696 | 近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助 |
| ②文化活動費補助 | | 1,320,000 | 1,226,686 | 93,314 | 開学祭、滋大祭、課外活動等補助 |
| ③学生研究調査費補助 | | 70,000 | 61,000 | 9,000 | 学生懸賞論文副賞、優秀卒業論文副賞 |
| ④学務関係補助 | | 3,500,000 | 2,031,173 | 1,468,827 | TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等 |
| ⑤就職補助費 | | 900,000 | 900,000 | 0 | 合同企業説明会等参加経費補助 |
| ⑥団体分担金 | | 240,000 | 34,296 | 205,704 | 会費、学会開催経費等補助 |
| ⑦研究所等補助 | | 410,000 | 410,000 | 0 | 資料購入、運営費等補助 |
| ⑧入学式・卒業式等経費 | | 260,000 | 192,755 | 67,245 | 入学式、総会経費、卒業式経費補助 |
| ⑨広報費 | | 600,000 | 570,147 | 29,853 | 後援会だより印刷費、送料 |
| ⑩渉外費 | | 350,000 | 302,960 | 47,040 | 学部事業補助、慶弔費等 |
| ⑪総務費 | | 30,000 | 14,400 | 15,600 | 通信費等 |
| ⑫外国人留学生後援会援助費 | | 100,000 | 100,000 | 0 | 留学生後援会援助金 |
| ⑬資格取得等報奨金 | | 1,722,000 | 1,735,500 | -13,500 | 資格取得等報奨金 |
| ⑭経済学部記念事業援助費積立 | | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| ⑮情報教育充実費 | | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| ⑯予備費 | | 2,454,937 | 859,456 | 1,595,481 | |
| 支出合計 | | 16,016,937 | 12,458,677 | 3,558,260 | |

平成30年度 図書充実費収支報告

(単位:円)

| 収入 | 科目 | 予算額 | 備考 |
|------------|----|-----------|-------------|
| 前年度繰越額 | | 506,164 | |
| 会費(学部新入生) | | 565,000 | 565人×@1,000 |
| 会費(編入生) | | 6,500 | 13人×@500 |
| 会費(大学院新入生) | | 7,000 | 14人 |
| 利息 | | 6 | |
| 収入合計 | | 1,084,670 | |

(単位:円)

| 支出 | 科目 | 予算額 | 備考 |
|--------|----|-----------|----|
| 図書購入費等 | | 663,616 | |
| 次年度繰越金 | | 421,054 | |
| 支出合計 | | 1,084,670 | |

平成30年度 体育充実費収支報告

(単位:円)

| 収入 | 科目 | 予算額 | 備考 |
|------------|----|---------|-------------|
| 前年度繰越額 | | 370,465 | |
| 会費(学部新入生) | | 565,000 | 565人×@1,000 |
| 会費(編入生) | | 6,500 | 13人×@500 |
| 会費(大学院新入生) | | 7,000 | 14人 |
| 利息 | | 5 | |
| 収入合計 | | 948,970 | |

(単位:円)

| 支出 | 科目 | 予算額 | 備考 |
|---------|----|---------|----|
| 近国体分担金 | | 269,858 | |
| ゴルフ実習費 | | 81,000 | |
| スキー教室経費 | | 195,559 | |
| 次年度繰越金 | | 402,553 | |
| 支出合計 | | 948,970 | |

平成30年度 資格取得等報奨金収支報告

(単位:円)

| 収入 | 科目 | 予算額 | 備考 |
|-------------|----|-----------|----|
| 前年度繰越額 | | 1,888,521 | |
| 資格取得等報奨金 会費 | | 1,735,500 | |
| 利息 | | 19 | |
| 収入合計 | | 3,624,040 | |

(単位:円)

| 支出 | 科目 | 予算額 | 備考 |
|--------|----|-----------|----|
| 支出額 | | 1,888,521 | |
| 次年度繰越金 | | 1,735,519 | |
| 支出合計 | | 3,624,040 | |

令和元年度 経済学部・データサイエンス学部後援会予算

収入

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 備 考 |
|------------|------------|--------------------------------------|
| 前年度繰越額 | 3,558,260 | |
| 会費(学部新入生) | 12,811,000 | 557人×@23,000 |
| 会費(編入生) | 287,500 | 25人×@11,500 |
| 会費(大学院新入生) | 448,500 | 34人×@11,500(博士前期), 3人×@17,250(博士後期), |
| 利息 | 100 | 1人×@5,750(5年一貫制) |
| 収入合計 | 17,105,360 | |

支出

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 備 考 |
|-----------------|------------|--------------------------------|
| ① 厚生体育費補助 | 2,960,000 | 近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助 |
| ② 文化活動費補助 | 1,320,000 | 開学祭、滋大祭、課外活動等補助 |
| ③ 学生研究調査費補助 | 70,000 | 学生懸賞論文副賞、優秀卒業論文副賞 |
| ④ 学務関係補助 | 3,500,000 | 学務関係諸経費補助、TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等 |
| ⑤ 就職補助費 | 900,000 | 合同企業説明会等参加経費補助 |
| ⑥ 団体分担金 | 240,000 | 会費、学会開催経費等補助 |
| ⑦ 研究所等補助 | 410,000 | 資料購入、運営費等補助 |
| ⑧ 入学式・卒業式等経費 | 260,000 | 入学式、総会経費、卒業式経費補助 |
| ⑨ 広報費 | 600,000 | 後援会だより印刷費、送料 |
| ⑩ 渉外費 | 350,000 | 学部事業補助、慶弔費等 |
| ⑪ 総務費 | 30,000 | 通信費等 |
| ⑫ 外国人留学生後援会援助費 | 100,000 | 留学生後援会援助金 |
| ⑬ 資格取得等報奨金 | 2,530,000 | 資格取得等報奨金 |
| ⑭ 経済学部記念事業援助費積立 | 100,000 | |
| ⑮ 情報教育充実費 | 1,000,000 | |
| ⑯ 予備費 | 2,735,360 | |
| 支出合計 | 17,105,360 | |

令和元年度 図書充実費予算

収入

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 備 考 |
|------------|-----------|-------------|
| 前年度繰越額 | 421,054 | |
| 会費(学部新入生) | 557,000 | 557人×@1,000 |
| 会費(編入生) | 12,500 | 25人×@500 |
| 会費(大学院新入生) | 19,500 | 38人 |
| 利息 | 10 | |
| 収入合計 | 1,010,064 | |

支出

| 科 目 | 予 算 額 | 備 考 |
|--------|-----------|-----|
| 図書購入費等 | 600,000 | |
| 予備費 | 410,064 | |
| 支出合計 | 1,010,064 | |

令和元年度 体育充実費予算

収入

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 備 考 |
|------------|---------|-------------|
| 前年度繰越額 | 402,553 | |
| 会費(学部新入生) | 557,000 | 557人×@1,000 |
| 会費(編入生) | 12,500 | 25人×@500 |
| 会費(大学院新入生) | 19,500 | 38人 |
| 利息 | 10 | |
| 収入合計 | 991,563 | |

支出

| 科 目 | 予 算 額 | 備 考 |
|---------|---------|-----|
| 近国体分担金 | 300,000 | |
| ゴルフ実習費 | 100,000 | |
| スキー教室経費 | 200,000 | |
| 予備費 | 391,563 | |
| 支出合計 | 991,563 | |

令和元年度 資格取得等報奨金予算

収入

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 備 考 |
|-------------|-----------|-----|
| 前年度繰越額 | 1,735,519 | |
| 資格取得等報奨金 会費 | 2,530,000 | |
| 利息 | 20 | |
| 収入合計 | 4,265,539 | |

支出

| 科 目 | 予 算 額 | 備 考 |
|---------------|-----------|-----|
| 資格取得等報奨金(H30) | 1,735,519 | |
| 次年度繰越予定額 | | |
| 資格取得等報奨金(R01) | 2,530,020 | |
| 支出合計 | 4,265,539 | |

令和元年度 後援会役員名簿

| | | | | | |
|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| 会 長 | 戸田 茂 | 幹 事 | 堀部 千夏 | 委 員 | 横幕智代美 |
| 副会長 | 伊藤 正之 | 幹 事 | 和田 恵美 | 委 員 | 毛利 哲也 |
| 副会長 | 尾上志津夫 | 監 事 | 大橋 瑞樹 | 委 員 | 松橋 勇次 |
| 幹 事 | 西尾 修治 | 監 事 | 鶴田 千春 | 委 員 | 西田 隆弘 |
| 幹 事 | 草野 紀子 | 委 員 | 山本 浩史 | 委 員 | 田中 伸英 |
| 幹 事 | 寺橋 豊重 | 委 員 | 山本真由美 | | |



後援会だより編集委員会

編集後記

5月31日(世界禁煙デー)をもって、滋賀大学のキャンパス内は全面禁煙となりました。学生、教職員の健康を守り、安全で快適な教育・研究環境を実現するため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

また、後援会だよりは次のURLでもご覧いただけます。

<https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters/>

会員の皆様の記事についての感想や要望、後援会や経済学部・DS学部に対する要望、ご意見等を郵送又はFAXでお聞かせください。 ☎522-8522 彦根市場場一丁目1-1 FAX 0749-27-1132

令和元年度 学年暦・主要な行事 (予定)

《 春学期 》

| 月 | 日 (曜日) | 授業関係 | 就職関係 | その他 |
|---|-------------------|--|---------------------------------|------------------------------|
| 3 | 22(金) | 成績発表(サクセス(Web)で確認) | | |
| | 3(水) | 入学式(びわ湖ホール) | | 新歓祭 |
| | 4(木) | 新入生オリエンテーション | | 新入生オリエンテーション(キャンパスライフ講習会) |
| 4 | 8(月) | 春学期授業開始 経済学研究科博士後期課程は4/13(土) | | |
| | 9(火) ~ 12(金) | | | イギリス研修説明会 |
| | 11(木)・18(木)・25(木) | | | 海外留学相談会 |
| | 初旬 ~ 12月中旬 | 授業日 | | 近畿地区国立大学体育大会 |
| | 6(月) 振替休日 | | | |
| | 9(木) | | 就職説明会(キックオフ宣言)(3回生)【経済学部】 | ミシガン研修説明会 |
| 5 | 17(金) | | | 新入生歓迎マラソン |
| | 18(土) | | | |
| | 21(火) | | 就職説明会(キックオフ宣言)(3回生)【データサイエンス学部】 | |
| | 25(土) | TOEIC-IP試験(2019年度・2017年度入学生(奨励生)全員、その他希望者) | | 開学記念日 |
| | 31(金) | | | 学長フォーラム(70周年行事) |
| | 1(土) | | | 滋和2大学学長杯争奪総合定期戦結団式 |
| | 2(日) | | | フレッシュマン・キャンパス |
| 6 | 8(土) ~ 9(日) | 成績優秀者表彰式 | | |
| | 中旬 | | 第1回就職ガイダンス(3回生) | |
| | 21(金) | | 第2回就職ガイダンス(3回生) | 第54回滋和2大学学長杯争奪総合定期戦 |
| | 22(土) ~ 23(日) | | | |
| | 28(金) | 授業日(金曜日の授業) | | |
| | 29(土) | | 自己分析セミナー | |
| | 上旬 | | | |
| | 13(土) | 補講日 | | |
| | 15(月) 海の日 | 授業日 | | |
| 7 | 20(土) | 補講日 | | |
| | 25(木) | 春学期授業終了 | | |
| | 26(金) | 春学期試験(予備日を含む) | | |
| | ~ 8 / 8(木) | | | |
| | 上旬 | | | 韓国語・文化研修(啓明大学) |
| | 9(金) ~ 9/30(月) | 夏季休業・集中講義 | | イギリス研修(リーズトリニティ大学) |
| 8 | 17(土) ~ 9 / 9(月) | | | アメリカ語学研修(ミシガン州立大学) |
| | 24(土) ~ 9/22(日) | | | 近畿地区国立大学体育大会「トニント」(滋賀県立体育館) |
| | 27(火) ~ 28(水) | | | タイ・エオスタデバワラー(泰国工業大学、チェンマイ大学) |
| | 下旬 | | | フランス語学・文化研修(西部カリフォルニア大学) |
| | 上旬 ~ 中旬 | | | SFA(学生・教員協議会) |
| 9 | 中旬 | | | |
| | 下旬 | | | |
| | 下旬 | 経済学研究科博士後期課程D2研究報告会(11月上旬までの間) | | |
| | 下旬 | 成績発表(サクセス(Web)で確認) | | |

(注) 変更される場合があります。

その他の情報
大学のホームページから



滋賀大学のホームページ
<https://www.shiga-u.ac.jp/>

メニュー

在学生・保護者の方

- ◇ 通知を見る(休講・補講等)
- ◇ 学習について調べる(学年暦等)
- ◇ 大学の支援を調べる(奨学金・授業料免除等)

- ◇ 就職・資格について調べる(取得できる資格等)
- ◇ 大学生活を調べる(住居・課外活動・アルバイト等)
- ◇ 滋賀県と滋賀大学を知る(広報誌しがたけい等)

《 教学期 》

| 月 | 日(曜日) | 授業関係 | 就職関係 | その他 |
|----|--|--|--|---|
| 10 | 1(火) 上旬 | 秋学期授業開始 | | |
| | 12(土) 14(月) 体育の日 中旬 | 経済学研究科博士後期課程D3中間研究報告会 授業日 | SPI対策講座 | TOEFL対策講座(全9回) |
| | 22(火) 26(土) | 授業日(金曜日の授業) 彦根地区キャンパス休講 | | |
| | 1(金) 2(土) ~ 3(日) 4(月) 振替休日 24(日) 30(土) ~ 12/1(日) | 授業日(金曜日の授業) 彦根地区キャンパス休講 授業日 新計検定(2018年度DS学部入学者全員、その他希望者) | | 榎本杯争奪駅伝大会 大学祭 |
| 11 | 中旬 | | 第4回就職ガイダンス(3回生) 慶水会計入会による学生説明会・懇談会(3回生) | リーダーズトレーニング |
| | 下旬 | | | |
| 12 | 上旬 | | 3回生就職希望者の個別進路面談(3回生) | |
| | 中旬 | | 第5回就職ガイダンス(3回生) 第6回就職ガイダンス(3回生) | |
| 1 | 中旬 | | 第41回慶水懇話会(3回生) | |
| | 下旬 | | 第7回就職ガイダンス(3回生) | |
| 2 | 6(月) 上旬 | 授業再開 経済学研究科博士後期課程は1/4(土) | 若手卒業生による就活相談会 | |
| | 11(土) 17(金) 25(土) 27(月) 28(火) ~ 2/10(月) | 補講日 休講及び入構禁止(大学入試センター試験準備及び試験) 補講日 秋学期授業終了 秋学期試験(予備日を含む) | 第8回就職ガイダンス(3回生) | |
| 3 | 中旬 | | 女子学生のための慶水キャリアガイダンス(3回生) | |
| | 中旬 ~ 3月中旬 21(金) ~ 26(水) 下旬 ~ 3月上旬 下旬 上旬 ~ 中旬 11(火) ~ 12(木) 26(水) | 入構禁止(前期日程入学試験準備及び試験) 入構禁止(後期日程入学試験準備及び試験) 卒業式(びわ湖ホール) | 経済学部学内就職セミナー【学内合同企業説明会】(3回生) | オーストラリア研究(デューキン大学) メキシコ語学文化研修(グテラフナト大学) SFA(学生・教員協議会) 中国語研修(東北財経大学) 卒業祝賀会 |

(注) 変更される場合があります。

これらに関するご質問、
こちらへお問い合わせ
ください



- 授業・休学・退学に関するご質問
学務課教務係(学部) 0749-27-1031(ダイヤルイン)
- 授業料免除・奨学金に関するご質問
学務課大学院係(大学院) 0749-27-1032(ダイヤルイン)
- 学生生活・クラブ活動等に関するご質問
学生支援課学生支援係 0749-27-7530(ダイヤルイン)
- 就職・進学に関するご質問
学生支援課就職係 0749-27-1021(ダイヤルイン)
- 留学に関するご質問
国際交流課国際交流係 0749-27-1430(ダイヤルイン)
- 就職支援室
0749-27-1033(ダイヤルイン)
- 障がい学生支援室
0749-27-8166(ダイヤルイン)